

# Agilent 1260 Infinity II SFC システムと TOF MS 検出器

メソッドスカウティングウィザードによるメソッド開発

#### 著者

Stefan Bieber Analytical Research Institute for Non-Target Screening (AFIN-TS) GmbH Augsburg, Germany

Thomas Letzel
Analytical Research Group,
Chair of Urban Water
Systems Engineering,
Technical University of
Munich (TUM)
Garching, Germany

Edgar Naegele and Daniel Kutscher Agilent Technologies, Inc. Waldbronn, Germany

# 概要

このアプリケーションノートでは、Agilent ChemStation メソッドスカウティングウィザードソフトウェアを用いて、Agilent 1260 Infinity II SFC システムで医薬品の超臨界流体クロマトグラフィー (SFC) 分離メソッドを自動的に開発する方法をご紹介します。SFC システムに溶媒選択バルブとカラム選択バルブを取り付けて、最大 12 種類の溶媒と 6 種類のカラムを用いてスクリーニングできるようにしました。ChemStation メソッドスカウティングウィザードソフトウェアを使用すると、直感的かつシンプルに分析メソッドを作成できます。これにより、非常に時間効率に優れたメソッド開発が実現します。

## はじめに

SFC のアプリケーションは増え続けています。 これは主に、広い範囲の化合物を高効率に 分離する SFC 独自の分離特性によるもので す<sup>1</sup>。液体クロマトグラフィー (LC) で知られて いるほぼすべてのカラムを SFC で使用でき、 広い選択性を提供しています。しかし、SFC 独自の移動相の圧縮率と保持機構のために、 従来の LC で知られているメソッドとの類似点 がなく、メソッド開発が困難な作業となること があります。このため、アキラル SFC メソッド 開発では一般的に、さまざまなカラムとモディ ファイア、モディファイアへの添加剤、圧力、 温度でスクリーニングしたものを組み合わせ ますが、これには時間がかかることがありま す。カラムと移動相によるスクリーニングの利 点は、以前にアプリケーションノートで説明し ました<sup>2</sup>。

このアプリケーションノートでは、6種類のアキラル医薬品活性化合物を分離する SFC のメソッド開発に、メソッドスカウティングウィザードソフトウェアを用いる利点について解説します。検出器には飛行型質量分析装置(TOF MS)を使用しました。メソッド開発には4種類のカラムと10種類の有機溶媒のスクリーニングを検討しました。分離メソッドとともにフラッシングと平衡化のステップを、ChemStationメソッドスカウティングウィザードソフトウェアを使用して作成しました。

## 実験方法

#### 装置構成

Agilent 1260 Infinity II SFC システムを次の モジュールで構成しました。

- Agilent 1260 Infinity SFC II
   コントロールモジュール (G4301A)
- Agilent 1260 Infinity SFC バイナリポンプ (G4302A)
- Agilent 1260 Infinity II SFC マルチ サンプラ (G4767A)
- 高圧 SFC フローセル付き Agilent 1260 Infinity ダイオードアレイ検出器 (G1315C)
- Agilent 1290 Infinity サーモスタット カラムコンパートメント (G1316C)

以前の技術概要<sup>3</sup>で、Agilent 1260 Infinity II 分析 SFC ソリューションに含まれる Agilent 1260 Infinity II SFC マルチサンプラ (G4767A) の性能を解説しています。

## ソフトウェア支援メソッド開発に必要な 追加部品

- Agilent 1290 Infinity バルブドライブ (G1170A)、Agilent InfinityLab クイック チェンジ 12 ポジション/13 ポートバイオ イナート溶媒セレクタバルブ (G4235A)
- Agilent InfinityLab クイックチェンジ 6 ポジション/14 ポートバルブ (p/n 5067-4142)

#### 質量分析検出器

- ・ Agilent 6230 Accurate-Mass TOF LC/MS (G6230B)、Agilent Jet Stream イオンソース (G1958-65138)
- Agilent 1260 Infinity イソクラティック ポンプ (G1310B)、メークアップ用

以前の技術概要 <sup>4</sup> で、SFC と TOF MS を組み合わせる場合の Jet Stream ESI イオン化パラメータの最適化について解説しています。

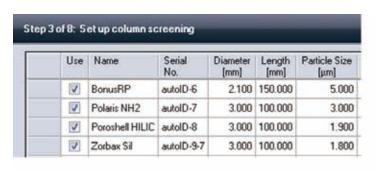
#### 機器の設定

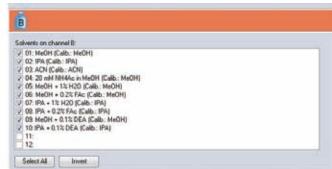
1260 Infinity SFC バイナリポンプ と InfinityLab クイックチェンジ12 ポジション/13 ポートバルブを、Agilent OpenLAB CDS ChemStation Edition ソフトウェアでクラスタリングしました。 今回のスクリーニングでは、最大12 種類の溶媒/添加剤の組み合わせを使用し、 OpenLab CDS ChemStation Edition ソフト ウェアの Instrument Configuration 画面で 割り当てました。1290 Infinity サーモスタット カラムコンパートメントは、InfinityLab クイッ クチェンジ 6 ポジション/14 ポートの 6 カラム 選択バルブが取り付けられており、最大6種 類のカラムを用いてスクリーニングを実行で きました。使用したカラムは OpenLab CDS ChemStation のカラム表に追加されました。 すべてのメソッドは ChemStation メソッドス カウティングウィザードソフトウェアを使用して 作成しました (図1)。

SFC システムのアウトレットラインは、6230 Accurate-Mass TOF LC/MS の Jet Stream イオンソースに接続しました。質量キャリブレーションを継続的に行うために、1260 Infinity アイソクラティックポンプを T ユニオン経由で SFC のアウトレットラインに接続しました。プリンと HP 921 を MS 再キャリブレーションのリファレンス質量として使用しました。

## カラム

- Agilent ZORBAX Bonus-RP、 2.1 × 150 mm、5 μm (p/n 883725-901)
- Agilent Polaris NH2、 3.0 × 100 mm、3 μm (p/n A2014100X030)
- Agilent InfinityLab Poroshell
   120 HILIC、3.0 × 100 mm、1.9 μm
   (p/n 695675-301)
- Agilent ZORBAX Rx-SIL、 3.0 × 100 mm、1.8 μm (ラピッド レゾリューション HT、p/n 828975-301)





Des	cription S	eque	solvent Usage								
#	Sample	Inj	Method	Type	Flow [mL/min]	Run Time (min)	Post Time [min]	Irii Vol.	Vial	Column	SolverX(t)
			FluihBypass0001.m	Flush	1.000	17.50	0.00			Bypass	16.7 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 83.3 % 801: MeOH (Calb.: MeOH
2			FlushBypass0002.m	Flush	1.000	2.50	0.00			Bypass	95.0 % A: CO2 (Callb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B01: MeOH (Callb.: MeOH
3			Equilibration0001.m	Equilibration	2.000	1.56	0.00			BonusRP (autolD-6)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 801: MeOH (Calb.: MeOH
4	Sample 2	- 1	Injection0001.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	BorwinRP (autoID-6)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 801: MeOH (Calib.: MeOH)
5		1/12	Equilibration0002.m	Equilibration	2,000	3.37	0.00			Polaris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 801; MeOH (Calb.: MeOH)
6	Sample 2	1	Injection0002.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	Poleris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B01: MeOH (Calb.: MeOH)
7			Equilibration0003.m	Equilibration	2.000	2.37	0.00			Poroshell HILIC (autoID-8)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B01: MeOH (Calib.: MeOH)
8	Sample 2	1	Injection0003.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vist 3	Poroshell HILIC (autoID-8)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B01: MeOH (Calib.: MeOH
9			Equilibration0004 m	Equilibration	2.000	3.37	0.00			Zorbax Sit (exitotD-9-7)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 801: MeOH (Calib.: MeOH
10	Sample 2	1	Injection0004.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	Zorbax Sil (autoID-9-7)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 801: MeOH (Calb.: MeOH)
11			FlushBypass0003.m	Fluth	1.000	15.00	0.00			Bypass	100.0 % 802: IPA (Calb.: IPA)
12			FlushBypass0004.m	Flush	1.000	2.50	0.00			Bypass	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calib.: IPA)
13			Equilibration0005.m	Equilibration	2.000	2.12	0.00			Zorbax Sil (autoID-9-7)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calib.: IPA)
14	Sample 2	1	Injection0005.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	Zorbax Sil (autolD-9-7)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calib.: IPA)
15			Equilibration0006.m	Equilibration	2.000	3.37	0.00			Poroshell HILIC (autolO-8)	95.0 % A: CO2 (Callb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Callb.: IPA)
16	Sample 2	1	Injection0006.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Visi 3	Poroshell HILIC (autoID-8)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 8/02: IPA (Calib.: IPA)
17			Equilibration0007.m	Equilibration	2.000	3.37	0.00			Polaris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 (Calds: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calds: IPA)
18	Sample 2	1	Injection0007.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vist 3	Polaris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calb.: IPA)
19			Equilibration0008.m	Equilibration	2 000	2.81	0.00			BorumPIP (autoID-6)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calb.: IPA)
20	Sample 2	1	Injection0008.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	BonusRP (autoID-6)	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 802: IPA (Calb.: IPA)
21			FlushBypass0005.m	Flush	1.000	15.00	0.00			Bypass	100.0 % 803: ACN (Calb.: ACN)
22			FlushBypass0006.m	Flush	1.000	2.50	0.00			Вуразо	95.0 % A: CO2 (Calb.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B03: ACN (Calb.: ACN)
23			Equilibration0009.m	Equilibration	2.000	1,56	0.00			BorwiRP (autolD-6)	95.0 % A: CO2 (Callb : CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B03: ACN (Callb : ACN)
24	Sample 2	-1	Injection0009.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	BonusRP (autoID-6)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % 803: ACN (Calib.: ACN)
25		1	Equilibration0010.m	Equilibration	2.000	3.37	0.00		2000	Polaris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 (Calib.: CO2 (pre-compressed)), 5.0 % B03: ACN (Calib.: ACN)
26	Sample 2	1	Injection0010.m	Injection	2.000	8.00	0.00	1.000	Vial 3	Polaris NH2 (autoID-7)	95.0 % A: CO2 [Calib.: CO2 [pre-compressed]], 5.0 % 803; ACN [Calib.: ACN]
27	-	1	Equilibration0011.m	Equilibration	2.000	3.37	0.00			Poroshell HILIC (auto/D-8)	95.0 % A: C02 (Calib.: C02 (pre-compressed)), 5.0 % 803. ACN (Calib.: ACN)

図 1. メソッドスカウティングウィザードソフトウェアを使用した、カラム溶媒スクリーニングのセットアップステップ

#### ソフトウェア

LC および LC/MS システム用 OpenLab CDS ChemStation Edition バージョン C.01.07 SR3 と ChemStation Method Scouting Wizard バージョン A.02.07 SR1 を使用して、SFC システムを制御し、メソッドを作成しました。MS データは Agilent MassHunter

Data Acquisition B 05.00 を用いて取得しました。データ解析には、Agilent MassHunter Profinder バージョン B.06.00 と Agilent MassHunter Qualitative Analysis バージョン B06.00 SP1 を使用しました。

### 試薬

溶媒はすべて Merck から購入し、化学物質はすべて Sigma-Aldrich から購入しました。二酸化炭素は Westfalen Gas (ミュンスター、ドイツ) から購入しました。

#### 移動相の組成

A: 二酸化炭素

B: 表 1 に記載の添加剤を含む有機溶媒

## 結果と考察

この実験において、6種類の医薬品活性化合 物について SFC 分離メソッドと TOF MS 検 出を確立できました。本研究の目的は、カラ ムと移動相の最適な組み合わせを発見して、 6 つの化合物すべてを十分な分離とピーク形 状で検出できるようにすることでした。このた めに、4 種類のカラムと 10 種類の移動相組 成を、共通のグラジエントメソッドを用いてス クリーニングしました。合計で、40 種類の組 み合わせをテストしました。カラムと移動相の 組み合わせごとにかかる8分間の分析時間 と、適切なフラッシングおよび平衡化にかかる 時間を踏まえて、約11時間ですべての分析メ ソッドをスクリーニングできました。データは MassHunter Profinder で対象の化合物の組 成式を基に評価しました。化合物を適切に抽 出するために、2つ以上のマススペクトルピー クと 10 ppm 以上の精度をもつ化合物のみ 抽出するようにしました。表 2 に データ評価 の結果をまとめています。

表 1. 移動相 B 中の添加剤

有機溶媒	添加剤
メタノール	不使用
メタノール	1%水
メタノール	0.2% ギ酸
メタノール	20 mM 酢酸アンモニウム
メタノール	0.1 % ジエチルアミン
イソプロパノール	不使用
イソプロパノール	1%水
イソプロパノール	0.2% ギ酸
イソプロパノール	0.1 % ジエチルアミン
アセトニトリル	不使用

## 共通の移動相グラジエント

時間 (分)	% B
0	5
4	40
6	40
7	5
8	5

## サンプル

化合物	分子式	[M+H]+	CAS 番号	化合物の用途
プリミドン	C <sub>12</sub> H <sub>14</sub> N <sub>2</sub> O <sub>2</sub>	219.11279	125-33-7	抗けいれん薬
カルバマゼピン	C <sub>15</sub> H <sub>12</sub> N <sub>2</sub> O	237.10223	298-46-4	抗てんかん薬
フェノフィブラート	C <sub>20</sub> H <sub>21</sub> CIO <sub>4</sub>	361.12010	49562-28-9	抗高脂血症薬
ナフシリン (ナトリウム塩)	C <sub>21</sub> H <sub>21</sub> N <sub>2</sub> NaO <sub>5</sub> S	415.13220 (ナトリウムを除く)	985-16-0	βラクタム系抗生物質
デコキネート	C <sub>24</sub> H <sub>35</sub> NO <sub>5</sub>	418.25878	18507-89-6	抗原虫薬
クロキサシリン (ナトリウム塩)	C <sub>19</sub> H <sub>17</sub> CIN <sub>3</sub> NaO <sub>5</sub> S	436.07283 (ナトリウムを除く)	642-78-4	βラクタム系抗生物質

化合物はアセトニトリルに溶解し、アセトニトリル中にそれぞれ 50 µmol/L 含まれるように調製しました。

#### SFC メソッド

パラメータ	設定値						
溶媒 A	CO <sub>2</sub>						
溶媒 B	有機溶媒と添加剤の 10 種類の組み合わせ						
SFC 流速	2 mL/min						
背圧レギュレータ	100 bar, 60 ° C						
温度	25 ° C						
注入量	1 μL						

# 質量分析メソッド (ESI ポジティブモード)

パラメータ	設定値
ドライガス温度	275 ° C
ドライガス流量	5 L/min
シースガス温度	275 ° C
シースガス流量	6 L/min
ネブライザ圧力	45 psi
キャピラリ電圧	4,000 V
フラグメンタ	150 V
スキマ電圧	60 V

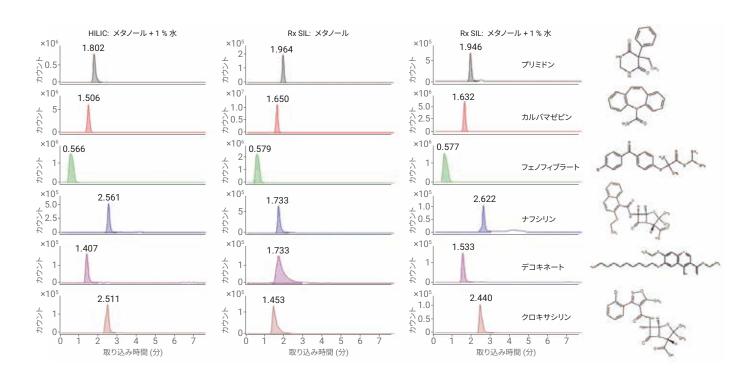
表 2. カラムと移動相のさまざまな組み合わせでスクリーニングされた、化合物の保持時間 (RT)。化合物が検出されなかった場合は「−」で示しています。 6 種類すべての化合物を効率的に分離し検出できた組み合わせにはアスタリスク (\*) マークを付けています。

カラム	モディファイア	プリミドン RT (分)	カルバマゼピン RT (分)	クロキサシリン RT (分)	フェノフィブラート RT (分)	ナフシリン RT (分)	デコキネート RT (分)
ZORBAX Bonus-RP	メタノール	0.89	0.84	1.85	0.65	-	1.59
ZORBAX Bonus-RP	メタノール + 20 mM 酢酸アンモニウム	0.86	0.79	1.54	0.63	2.10	1.52
ZORBAX Bonus-RP	メタノール + 1 % 水	0.90	0.83	1.81	0.65	3.13	1.54
ZORBAX Bonus-RP	メタノール + 0.2 % ギ酸	0.90	0.84	1.80	0.64	3.13	1.55
ZORBAX Bonus-RP	メタノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	-	-	-	-	-
ZORBAX Bonus-RP	イソプロパノール	1.20	1.10	-	0.66	-	2.29
ZORBAX Bonus-RP	イソプロパノール + 1 % 水	1.18	1.10	-	0.64	-	2.17
ZORBAX Bonus-RP	イソプロパノール + 0.2 % ギ酸	1.23	1.13	2.55	0.63	3.17	2.27
ZORBAX Bonus-RP	イソプロパノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	-	-	-	-	-
ZORBAX Bonus-RP	アセトニトリル	2.55	1.56	-	0.62	-	-
Polaris NH2	メタノール	1.80	1.45	5.56	0.73	-	2.00
Polaris NH2	メタノール + 20 mM 酢酸アンモニウム	-	1.36	-	0.65	-	-
Polaris NH2	メタノール + 1 % 水	1.81	1.46	-	0.62	3.24	1.89
Polaris NH2	メタノール + 0.2 % ギ酸	1.84	1.47	5.79	0.60		1.93
Polaris NH2	メタノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	-	-	-	-	-
Polaris NH2	イソプロパノール	2.55	2.15	-	0.70	-	3.47
Polaris NH2	イソプロパノール + 1 % 水	2.55	2.14	-	0.67	-	3.26
Polaris NH2	イソプロパノール + 0.2 % ギ酸	-	2.23	-	0.68	-	7.35
Polaris NH2	イソプロパノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	-	-	-	-	-
Polaris NH2	アセトニトリル	-	4.52	-	0.69	-	-
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール	1.84	1.54	1.72	0.63	1.94	1.36
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール + 20 mM 酢酸アンモニウム	-	-	-	0.60	3.63	-
*InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール + 1 % 水	1.79	1.51	2.51	0.55	2.56	1.41
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール + 0.2 % ギ酸	1.83	1.53	1.60	0.61	1.79	1.38
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール + 0.1 % ジエチルアミン	_	1.45	-	-	_	1.39
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	イソプロパノール	_	2.18	1.53	0.56	1.70	-
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	イソプロパノール + 1 % 水	2.28	2.03	1.54	0.60	1.70	-
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	イソプロパノール + 0.2 % ギ酸	2.43	2.20	1.39	0.59	1.54	-
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	イソプロパノール + 0.1 % ジエチルアミン	_	_	-	-	-	-
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	アセトニトリル	_	4.82	-	0.71	-	-
*ZORBAX Rx-SIL	メタノール	1.95	1.65	1.44	0.58	1.73	1.73
ZORBAX Rx-SIL	メタノール + 20 mM 酢酸アンモニウム	1.95	1.64	2.99	0.53	-	1.55
*ZORBAX Rx-SIL	メタノール + 1 % 水	1.95	1.63	2.44	0.56	2.62	1.53
ZORBAX Rx-SIL	メタノール + 0.2 % ギ酸	1.95	1.66	1.58	0.60	1.84	1.56
ZORBAX Rx-SIL	メタノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	1.64	-	0.68	-	1.49
ZORBAX Rx-SIL	イソプロパノール	2.49	2.28	1.55	0.64	1.81	3.97
ZORBAX Rx-SIL	イソプロパノール + 1 % 水	2.41	2.18	1.58	0.63	1.80	-
ZORBAX Rx-SIL	イソプロパノール + 0.2 % ギ酸	2.55	2.35	1.49	0.63	1.69	-
ZORBAX Rx-SIL	イソプロパノール + 0.1 % ジエチルアミン	-	-	-	-	-	=
ZORBAX Rx-SIL	アセトニトリル	_	4.85	_	0.73	_	_

テストした組み合わせのうち 3 つで、6 種類 の化合物の分離と検出について適切な結果 が得られました。この 3 つの組み合わせは、InfinityLab Poroshell 120 HILIC カラムと 1 % 水を含むメタノール、ZORBAX Rx-SIL カラムとメタノールのみ、1 % 水を含むメタノールでした。図 2 は、この 3 つの異なる分離の抽出イオンクロマトグラム (EIC) を示しています。3 つの組み合わせすべてで、6 種類の化合物を 3 分未満で分離できました。プリミドン、カルバマゼピン、フェノフィブラート、ナフシリンについては、すべてのメソッドで左右対称の

ピーク形状が得られました。デコキネートとクロキサシリンについては、ZORBAX Rx-SILカラムとメタノールを使用したときにピークテーリングが見られました。1%水を移動相溶媒に加えたものでは、この2つの化合物のピーク形状が改善されました。EICのピークの高さは、1%の水の添加にはほとんど影響されませんでした。ZORBAX Rx-SILの分離における化合物の保持時間の比較では、水などの添加剤はピーク形状に影響を及ぼすだけでなく、化合物の保持時間にも影響を及ぼすことが示されました(表3)。しかし、これらの影響を予測することは難しく、化合物依存が大きい

ことがわかりました。プリミドンとカルバマゼピンでは、1%の水の付加で保持時間がわずかに早くなっています。一方、ナフシリンとクロキサシリンでは大きく遅くなっています。つまり、異なる添加剤をメソッドのスクリーニング手順に含める必要があることが判明しました。相互作用し分離に影響するこれらの要素によって、SFCのメソッド開発が複雑になる場合があります。



**図 2.** InfinityLab Poroshell 120 HILIC とメタノール + 1 % 水、Rx-SIL とメタノール、Rx-SIL とメタノール + 1 % 水を使用して SFC で分離した、6 種類の調査対象化合物の抽出イオンクロマトグラム (20 ppm の質量精度)

表 3. ZORBAX Rx-SIL および InfinityLab Poroshell 120 HILIC でメタノールのみ、またはメタノール + 1 % 水を使用して分離した化合物の保持時間 (RT) およびピーク幅

		プリミドン		カルバマゼピン		クロキサシリン		フェノフィブラート		ナフシリン		デコキネート	
カラム	モディファイア	RT (分)	ピーク幅 (分)										
7774	C747717	(23)	(11)	(23)	(11)	(23)	(23)	(23)	(11)	(23)	(11)	(23)	(21)
InfinityLab Poroshell 120 HILIC	メタノール + 1 % 水	1.80	0.10	1.51	0.10	2.51	0.07	0.57	0.24	2.56	0.07	1.41	0.11
ZORBAX Rx-SIL	メタノール	1.96	0.07	1.65	0.09	1.45	0.11	0.58	0.21	1.73	0.09	1.73	0.29
ZORBAX Rx-SIL	メタノール + 1 % 水	1.95	0.08	1.63	0.09	2.44	0.07	0.58	0.21	2.62	0.08	1.53	0.10

# 結論

本研究では、6種類の医薬品活性化合物を SFC/TOF-MS によって分離し、検出しまし た。メソッド開発ではカラムと移動相の 40 種 類の組み合わせを検討しました。2 つのシリカ カラム (InfinityLab Poroshell 120 HILIC と ZORBAX Rx-SIL) はいずれも、移動相溶媒と 1% の水を含むメタノール (ZORBAX Rx-SIL ではメタノールのみも)の組み合わせが、分析 対象化合物の分離に最も適していることが明 らかになりました。メソッドスカウティングウイ ザードソフトウェアにより、カラムと移動相の 複数の組み合わせを高度に自動化された方 法でスクリーニングできるため、スクリーニン グに必要な時間を大幅に短縮することができ ます。また、カラム温度、移動相の組成、グラ ジエントプロファイルをスクリーニングして最 適化することもできます。このため、高速かつ 包括的なメソッド開発が可能となり、SFC に おいて分離に影響を及ぼす重要なパラメータ を検討できます。

# 謝辞

SFC システムの貸与および2016年のAgilent Technologies, Inc. 研究プロジェクト助成金に対してアジレントテクノロジーに感謝の意をお伝えします。Andreas Borowiak氏、Thorsten Gebhardt氏、Patric Hörth氏、Uwe Kistler氏、Tom van de Goor氏には、継続的にご支援いただき、さまざまな状況で全面的にご対応くださったことに心より御礼申し上げます。Sylvia Große氏、Felix List氏、Wolfgang Schröder氏のご貢献に感謝いたします。

# 参考文献

- Bieber, S.; et al. RRLC-HILIC and SFC with Mass Spectrometry: Polarity Extended Organic Molecule Screening in Environmental (Water) Samples. Analytical Chemistry 2017, 89(15), 7907-7914.
- Strategies for Column and Mobile Phase Selection with the Agilent 1260 Infinity SFC System, Agilent Technologies Application Note, publication number 5990-7147EN.
- Supercritical Fluid Chromatography with Flexible Injection Volumes at Highest Precision – Performance Evaluation of the Agilent 1260 Infinity II SFC Multisampler in the Agilent Infinity II Analytical SFC Solution, Agilent Technologies Technical Overview, publication number 5991-7623EN.
- 4. Optimization of Jet Stream ESI Parameters When Coupling Agilent 1260 Infinity Analytical SFC System with Agilent 6230 TOF LC/MS, Agilent Technologies Technical Overview, publication number 5991-4510EN.

ホームページ

# www.agilent.com/chem/jp

カストマコンタクトセンタ

0120-477-111

# email\_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、 医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。 本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに 変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社 © Agilent Technologies, Inc. 2018 Printed in Japan, October 5, 2018 5994-0251JAJP

